

令和3年4-6月期中小企業（製造業）

景況動向調査結果

令和3年7月15日
群馬県中小企業団体中央会

調査結果の概要

1. 調査目的 県内中小企業（製造業）における景況動向を的確に把握し、時宜を得た中央会指導方針の策定に資することを目的とする。
2. 調査期間 令和3年6月10日～令和3年6月30日
3. 調査方法 郵送調査
4. 調査対象 県内中小企業（製造業）で、本会会員組合所属の500社
5. 回答状況 調査対象500社のうち回答を得られたのは274社で、全体の回収率は54.8%となった。回答企業の平均従業員数は49.7人であった。

業 種	項 目	調査数	回 答		平 均 従業員数
			数	率	
食 料 品 製 造 業		95社	47社	49.5%	37.0人
織 維 ・ 同 製 品 製 造 業		59	38	64.4	19.0
木 材 ・ 木 製 品 製 造 業		30	19	63.3	23.7
紙 加 工 品 製 造 業		32	14	43.8	24.3
窯 業 ・ 土 石 製 品 製 造 業		61	45	73.8	38.0
金 属 ・ 機 械 ・ プ ラ ス チ ッ ク 製 品 製 造 業		223	111	49.8	79.0
	計	500	274	54.8	49.7

6. 要旨











「全体的に回復傾向にあるものの、先行きの不安は拭えず」

売上高と収益性を合わせたD I 平均値（前年同期比）〔※「前年同期比」は、令和2年4-6月期と比較した値。以下、「同期比」と表記〕については、▲6.4となり、前回調査（令和3年1-3月期）の▲36.7から30.3ポイント上昇している。来期見通しにおいては、3.7ポイント下降し▲10.1となる見通しになっている。

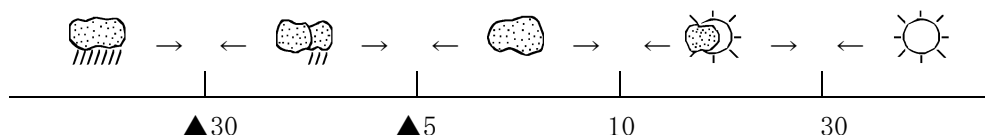
全体の天気図は、6期ぶりに「小雨」となった。来期見通しにおいても「小雨」の状態が継続する見通しとなっている。

【図表1】

【図表1】

	元年(31年)			2年				3年		来期見通
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	
全体	 ▲16.7	 ▲18.5	 ▲27.1	 ▲38.5	 ▲70.4	 ▲62.9	 ▲50.1	 ▲36.7	 ▲6.4	 ▲10.1

※景況天気図は「売上高」「収益性」(同期比)のD I 平均値を下記の基準に当てはめたもの。



業種別にみると、回復7業種、悪化0業種、横ばい1業種となっている。

回復…「食料品」



「繊維・同製品」



「木材・木製品」



「紙・加工品」



「金属・同製品」



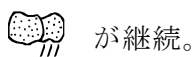
「機械・機器」



「プラスチック製品」



横ばい…「窯業・土石製品」



が継続。

来期見通しにおいては、回復1業種、悪化4業種、横ばい3業種となっている。

回復…「機械・機器」



悪化…「木材・木製品」



「紙・加工品」



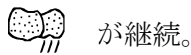
「窯業・土石製品」



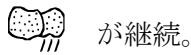
「プラスチック製品」



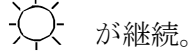
横ばい…「食料品」



「繊維・同製品」



「金属・同製品」



【図表2】

